

生産空間を守り安全・安心に住み続けられる強靱な国土づくり

○ 多様で豊かな地域社会の形成 「道の駅」の機能強化

- 地方部の「生産空間」を支える都市機能・生活機能の維持・確保を図るため、日常的な生活サービス機能を「道の駅」に集約し、賑わいの場を創出するなど、地域の拠点づくりを支援していきます。
- また、「道の駅」の交通結節点化や防災拠点化など、地域の拠点化に向けた多様な取組を推進していきます。
- 親子で滞在しやすい子育て環境創出のため、子育て応援施設の整備を推進します。

【防災】



災害時における防災備蓄倉庫の整備
(北欧の風 道の駅とうべつ)



防災機能向上訓練(道の駅 三笠)

【道の駅の基本コンセプト】



【子育て応援施設整備】 自販機・授乳室・おむつ交換台(道の駅 275つきがた)



【インバウンド】



24時間トイレ案内
(道の駅 スタープラザ芦別)
JNTOパートナー施設



総合案内所
(道の駅 ライスランドふかがわ)
JNTOカテゴリー1施設

令和6年度の実施(完了)状況

- 令和6年10月に、道の駅「三笠」で防災機能向上を目的とした訓練を実施。
- 広域災害応急対策の拠点となる防災機能を有する「道の駅」の駐車場を「防災拠点自動車駐車場」として指定(令和7年3月末時点で管内においては9駅)。
- 引き続き、自治体や「道の駅」管理者と道の駅に求められる防災や観光、福祉など多様な社会ニーズへの対応に向けた意見交換を行う。

生産空間を守り安全・安心に住み続けられる強靱な国土づくり

○ 激甚化・多様化する災害への対応と安全・安心な社会基盤の形成

- 流域のあらゆる関係者の協働による「流域治水」に基づき、石狩川、千歳川等の洪水氾濫を未然に防ぐための河川改修や北村遊水地の整備、豊平川の土砂災害を軽減する砂防施設の整備を推進します。
- 幾春別川総合開発事業のうち新桂沢ダムが令和6年3月に完成し、4月から本格運用を開始しました。三笠ぽんべつダム、雨竜川ダム再生事業については、引き続き、早期完成に向けて事業を推進します。



生産空間を守り安全・安心に住み続けられる強靱な国土づくり

【幾春別川総合開発事業(新桂沢ダム)】

令和6年3月完成

既設の桂沢ダムを
11.9mかさ上げ
(直轄初の同軸かさ上げ)



【雨竜川ダム再生事業(雨竜第2ダム)】

既設の雨竜第2ダムを3.8mかさ上げ



既設ダムを活用(かさ上げ等)することで新たに洪水調節機能の増大を図ります

令和6年度の実施(完了)状況

- ・ 石狩川、千歳川など本支川の河川改修を推進。
- ・ 千歳川流域においては令和5年8月に「特定都市河川及び流域」に指定、流域のあらゆる関係者と連携して流域治水の取組を推進。
- ・ 北村遊水地事業では、周囲堤、囲ぎよう堤、排水門等の整備を推進。
- ・ 土砂災害の軽減を図るため、オカバルシ川・簾舞川・南の沢川において砂防施設の整備を推進。
- ・ 幾春別川総合開発事業では、令和6年4月から新桂沢ダムが本格運用、三笠ぽんべつダムの建設を推進。
- ・ 雨竜川ダム再生事業(雨竜第1ダム及び第2ダム)では令和5年度から建設段階に移行、雨竜第2ダムにおいては令和7年度より本体工事に着手。
- ・ 空知川幾寅地区では、令和5年度に北海道で初めて登録された「MIZBEステーション」において、平常時の利活用と災害時の水防活動の拠点となる整備を推進。

生産空間を守り安全・安心に住み続けられる強靱な国土づくり

○ 災害からの迅速な復旧を支える道路交通ネットワークの耐災害性強化

- 地震・津波による被害や社会的影響を最小限に抑えるため、代替性確保のための工期空く道路の整備や緊急輸送道路上の橋梁の耐震補強、道路斜面や盛土等の防災対策を推進します。
- 橋梁や道路の流出、土砂災害、電柱倒壊等による道路の通行止めリスク解消や津波や洪水からの避難場所確保のための、河川に隣接する道路構造物等の流出防止対策や法面・盛土対策、無電柱化、盛土等を活用した避難施設の整備を実施します。



【道路構造物の流失防止対策(橋台の護岸整備)】



土砂災害の危険性がある箇所に対する、法面对策の実施により災害に強い道路交通ネットワークの構築・機能強化を図っています。

【土砂災害防止対策(国道453号 斜面对策の整備)】

令和6年度の実施（完了）状況

- ・ 国道453号千歳市において災害防除工事（斜面对策など）を実施。
- ・ また、橋梁や河川に隣接する道路構造物の流失防止対策を実施するなど、道路の防災・減災対策を推進。

生産空間を守り安全・安心に住み続けられる強靱な国土づくり

○ 冬期交通の確保

- 冬期の安全・安心を確保するため、冬期災害に備え、代替性確保のための高規格幹線道路等の整備、国道における防雪対策、防災訓練や住民の意識啓発等を推進します。
- 大雪・暴風雪時の取組として、道路管理者間で連携した高速道路通行止め時の平行路線対策やラジオ放送・SNSを活用した情報発信、T E C - F O R C E（緊急災害対策派遣隊：リエゾン^注）を含む）の派遣による自治体支援などを、円滑かつ迅速に、きめ細やかに実施します。（注：重大な災害の発生または発生のおそれがある場合に情報収集等を目的として地方公共団体へ派遣する職員）



【石狩・空知地方道路防災連絡協議会(WEB併用開催)】



【除雪作業】

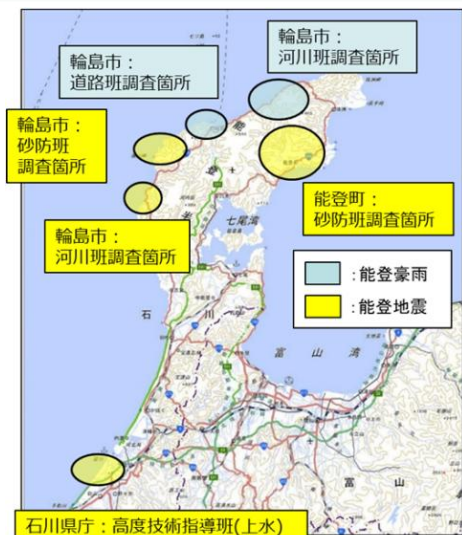
令和6年度の実施（完了）状況

- ・ 道路災害の防止及び災害発生時の被害拡大防止に向けて関係機関相互の連携強化を図るため、石狩・空知地方道路防災連絡協議会を開催（令和6年7月22日、30日）。
- ・ 冬期に向け、冬期道路維持管理情報共有化会議を開催し関係機関との除排雪の連携や雪堆積場の共有等について取り組んだ。

生産空間を守り安全・安心に住み続けられる強靱な国土づくり

○ TEC-FORCE等派遣による被災した自治体等への迅速な技術支援及び積極的な情報提供

- 大規模な自然災害に際して、被災状況の把握や被災地の早期復旧のため、TEC-FORCE（緊急災害対策派遣隊）及びMAFF-SAT（農林水産省サポート・アドバイス・チーム）を派遣し、被災した地方自治体への技術支援を迅速に実施しています。



道路被災状況調査



能登豪雨：輪島市

河川被災状況調査



ドローン調査



能登半島地震：輪島市

災害対策用機械



【高病原性鳥インフルエンザ防疫作業支援(照明車)(R6.10 厚真町)】

建設機械(散水車)



【農業用水確保のための給水支援(散水車)(R6.7 北竜町)】

令和6年度の実施（完了）状況

- 令和6年は能登半島地震、能登豪雨災害に対し、北陸地方整備局管内にTEC-FORCEを派遣。
【能登地震】R6.1.9～2.5、札建から河川・砂防、上水（延べ122人） 【能登豪雨】R6.10.3～10.11、札建から河川、道路（延べ72人）
- 高病原性鳥インフルエンザに係る支援として照明車の派遣、農業用水確保のための給水支援として散水車を派遣。

生産空間を守り安全・安心に住み続けられる強靱な国土づくり

○ 自治体・関係機関が連携した防災教育、防災訓練等の防災対応力の充実・強化

- 大規模災害を想定した各種訓練等により職員の危機管理能力の向上を図るとともに、防災関係機関で構成する協議会等に参画し、密接な連携、情報伝達体制を確立します。

排水ポンプ車、照明車、対策本部車、遠隔操作機械、小形無人ヘリコプター、ドローンの操作訓練に自治体職員も参加。開発局が行う災害対策用機械による支援について説明しました。



【自治体職員参加の災害対策用機械操作訓練】

砂川遊水池で実施した災害対策機械の操作訓練を自治体の防災担当職員に公開し、支援体制や連携強化を確認。

自治体に衛星通信車を派遣し、自治体と国土交通省をWEBで接続する通信訓練を行い、災害時の対応確認や連携強化を図っています。



【自治体職員参加の災害時通信訓練】

南幌町役場に衛星通信車を派遣し、災害現場、自治体、本省、本局、札幌開発建設部をWEBで接続する通信訓練を実施。

令和6年度の実施（完了）状況

- ・ 北海道開発局が保有する災害対策用機械の操作訓練を自治体職員にも公開し、連携体制を強化。
- ・ 災害対策用機械を使用した通信訓練を自治体と合同で実施し、情報伝達体制を強化。
- ・ 防災関係機関で構成する協議会等に参画し、開発局が行う地域支援の概要説明を行い、理解促進に努めた。
- ・ 大規模災害時の初動対応訓練として非常参集訓練、大雨災害RP訓練、災害協定に基づく連携訓練を実施。

生産空間を守り安全・安心に住み続けられる強靱な国土づくり

○ 防災、通行の安全、景観の向上に資する無電柱化事業の推進

- 道路の防災性の向上、安全で快適な歩行空間の確保、良好な景観の形成や観光振興の観点から実施している電柱の新設抑制及び無電柱化について、低コスト技術等を積極的に導入しつつ、事業のスピードアップを図ります。



【整備前】(国道12号江別市野幌町)



電柱、電線が無くなることで、電柱が折れたり、倒れたりする心配が無く、信号機・道路標識、周囲の景観が見えやすくなりました。

【整備後】(国道12号江別市野幌町)

令和6年度の実施（完了）状況

- ・ 国道12号札幌市菊水、白石中央、白石本通、厚別中央、江別市野幌町において、電線共同溝事業を実施。

生産空間を守り安全・安心に住み続けられる強靱な国土づくり

○ 交通安全対策の推進

- 事故多発区間での事故データを用いた分析や、ビッグデータを活用した潜在的な危険区間の分析により、事故の危険性が高い区間を抽出して重点的な対策を実施する事故ゼロプラン※を推進するとともに、通学路や未就学児の移動経路において、子供の安全な通行を確保するための対策を関係機関と連携して推進します。

※事故ゼロプラン：交通事故の危険性が高い区間である「事故危険区間」の交通事故対策の取組



交差点における交通安全対策(国道5号 札幌市)



生活道路における交通安全対策(札幌市)

令和6年度の実施（完了）状況

- ・ 国道275号月形交差点、国道337号道道札幌当別線交差点等、管内22箇所において、交通安全対策事業を実施。

生産空間を守り安全・安心に住み続けられる強靱な国土づくり

○ 交通安全対策事業（令和 6 年度実施箇所）

国道名		事業名
5 号	札幌道路事務所	新川交差点改良
12号	札幌道路事務所	野幌末広町交差点改良
	札幌道路事務所	道道江別恵庭線交差点改良
	札幌道路事務所	道道札幌環状線交差点改良
	岩見沢道路事務所	町道 1 6 号線交差点改良
	滝川道路事務所	空知太西 1 条 4 丁目交差点改良
	滝川道路事務所	江部乙付加車線整備
	深川道路事務所	稲田付加車線整備
36号	札幌道路事務所	平岡 3 号線交差点改良
	札幌道路事務所	輪厚中央通交差点改良
	千歳道路事務所	北栄路肩改良
38号	滝川道路事務所	道道芦別赤平線交差点改良
230号	札幌道路事務所	南 1 6 条西交差点改良
233号	深川道路事務所	北光町交差点改良
	深川道路事務所	道道沼田妹背牛線交差点改良
234号	札幌道路事務所	道道朝日桜丘線交差点改良
274号	千歳道路事務所	東2線南改良
275号	札幌道路事務所	月形交差点改良
337号	千歳道路事務所	南幌路肩改良
	札幌道路事務所	道道札幌当別線交差点改良
	札幌道路事務所	新港南 2 丁目交差点改良
453号	札幌道路事務所	石山東 2 交差点改良

生産空間を守り安全・安心に住み続けられる強靱な国土づくり

○ 社会経済活動を支えるインフラ施設の老朽化対策 河川管理施設

- 安全・安心な河川の機能維持のため、堤防除草や河川巡視・点検を行うとともに、インフラ長寿命化計画に基づき、既存施設が機能発揮するよう、必要な河川管理施設の補修・設備の更新を行うなど、地域との連携及びコスト縮減に努めつつ、的確な河川の維持管理を推進します。



樋門ゲート



排水機場操作設備



無動力化（自動開閉式ゲート）



遠隔操作化（遠隔監視対応制御盤）

※樋門とは？
普段は堤内の雨水等を河川に流し、大雨による洪水時には門を閉じて逆流を防ぐ施設です。

※排水機場とは？
洪水で樋門が閉じられた際、堤内の水をポンプにより河川へ排水する施設です。

【河川管理施設（樋門・排水機場）の維持補修】



地域と連携した堤防除草



公募による樹木伐採

【コスト縮減の取組】

Before 目視による点検（年1回）

亀裂を発見した場合は、計測、記録を行う。

課題

- 計測、記録に要する時間が多大



After AIによる解析（年1回）

車両に搭載したカメラにより動画を撮影
タイムシフトによるAI解析によりスクリーニングを行う。

効果

- 見落としの防止
- 巡視時間の短縮



【AI技術を活用した点検作業の検討事例】

令和6年度の実施（完了）状況

- ・ 老朽化した河川管理施設の補修と併せて、洪水時に本川からの逆流を防ぐための樋門ゲートの無動力化や排水機場の運転を河川事務所からできるよう遠隔操作化を実施。
- ・ 堤防の維持管理のための除草・伐採について、公募による有効活用によりコスト縮減に取り組んでいる。
- ・ AI技術を活用した点検作業の検討や、災害時の速やかな被災状況の把握のためのドローンの活用など、維持管理を効率化するための試みを実施。

生産空間を守り安全・安心に住み続けられる強靱な国土づくり

○ 社会経済活動を支えるインフラ施設の老朽化対策

道路施設

- 道路施設が有する機能を長期にわたって適切に確保するため、各施設に応じた点検及び計画的・効率的な維持管理を図り、適切な老朽化対策を推進します。



【国道274号 雨霧橋の橋梁補修(夕張市)】



【道路メンテナンス講習会(令和6年6月24日開催)】

令和6年度の実施（完了）状況

- ・ 2巡目点検結果を踏まえた早期措置が必要な施設への計画的な対策を実施。
- ・ 今年度も「北海道道路メンテナンス札幌地方会議」「講習会」を開催（令和6年6月24日）する等、地方公共団体における老朽化対策への技術支援を実施。

生産空間を守り安全・安心に住み続けられる強靱な国土づくり

○ 社会経済活動を支えるインフラ施設の老朽化対策

農業水利施設

- 農業水利施設を対象に老朽化状況を調べる機能診断等を行い、施設の長寿命化とライフサイクルコストの低減を図り、農業の生産力の維持・確保と地域の防災・減災力の向上を推進します。



長大なため目視調査に時間を要する北海幹線用水路においてひび割れ等の調査をドローンを用いています。

ドローンを活用した
北海幹線用水路（美唄市）の機能診断



ドローン



潤滑油を採取



金子排水機場（岩見沢市）の
ポンプ設備内の潤滑診断調査

令和6年度の実施（完了）状況

- ・ 農業水利施設等の機能診断調査を実施。

生産空間を守り安全・安心に住み続けられる強靱な国土づくり

○ 社会経済活動を支えるインフラ施設の耐震強化

空港施設

- 大規模地震災害時における緊急物資等の輸送拠点としての機能確保、航空ネットワーク及び背後圏の経済活動を維持するため、河川函渠等の耐震補強や滑走路の液状化対策を推進します。
- 不測の事態により、航空機が滑走路上面にて停止できない「オーバーラン」や手前に着陸する「アンダーシュート」を起こした場合に、航空機の損傷を軽減させるため、滑走路端安全区域の整備を推進します。

液状化層の地盤改良等により、滑走路表面の凹凸を防止



【新千歳空港施設 美沢川函渠の耐震対策】

空港地下に埋設されている函渠の壁面に穴を開け、せん断補強鉄筋を挿入して耐震補強する工事を実施しています。



【美沢川函渠耐震補強 施工状況】

令和6年度の実施（完了）状況

- ・ 埋設函渠の耐震補強については、令和6年度工事で補強対策は完了。
- ・ 滑走路の液状化対策については、令和7年度以降も作業を継続し事業進捗を図る。
- ・ 滑走路端安全区域の整備については、令和6年度に現地着工、令和7年度以降も作業を継続し事業進捗を図る。